

みんなで・楽しく・気軽にちよつとずつのボランティア

ちよぼら

No. 21
(2010.3)



「子ども見守り隊」活躍中!!



「おはようございます。」子どもたちの元気な声が響きます。今日も「子ども見守り隊」の皆さんの笑顔に守られて元気に通学しています。寄贈していただいた「子ども見守り中」の旗も大活躍。活動が始まって4年、ボランティアのみなさまに感謝します。



子育て支援センターちゃおのクリスマス会



ボランティアちゃお²も一緒に楽しみました!!

12月19日（土）恒例のちゃおのクリスマス会が中央公民館大ホールにて開催され、ボランティアちゃお²もお手伝い、一緒に楽しみました。催しの間はいつもの通り、子ども達とふれあったり赤ちゃんを抱っこしたり寝かせたり、そして子ども達とアンパンマンのサンサン体操を踊ったり、ちゃお²のメンバーも一緒に楽しみました。



今年は県の子育て支援指定事業の助成により購入したアンパンマンの着ぐるみが登場し、受け付けで出迎えました。「アンパンマン！」と喜ぶ子、ビックリしてお母さんにしがみつく子、こわごわ近づ

く子、子ども達のそれぞれの反応にスタッフも思わずにっこり。帰る頃には何度も握手をしたり一緒に写真をとったり、すっかり人気者のアンパンマンでした。

春のセンター移転から、毎月のちゃお広場・ぐるりんば・ベビーちゃお等でのボランティア、そして恒例の夏まつりなど、今年度もちゃお²はセンターを支え、たくさん子どもたちとお母さんたちを応援してくれました。



※ちゃお²では子どもとふれあうメンバーを募集しています。 問合せ先：子育て支援センターちゃお ☎77-5019
社会福祉協議会 ☎77-4877

♪ とまり木の会で「ベアーズ」がミニコンサート ♪



12月22日（火）のとまり木の会（家族介護者の会）で音楽ボランティア「ベアーズ」がミニコンサートをプレゼントしてくれました。

「浜辺の歌」「故郷」など子どもの頃に口ずさんだ懐かしい童謡や若かりし頃の十八番（？）「津軽海峡冬景色」などを一緒に歌いました。また、手と足でボディーパーカッションをしながら歌ったクリスマスソング「赤鼻のトナカイ」では、なかなかリズムが合わずみんな大笑い。

そしてオカリナの二重奏による「きよしこの夜」ではベアーズのふたりが奏でる美しい音色にしみじみと暖かい雰囲気になりました。童謡あり、懐メロあり、リズムありユーモアあふれるトークありの楽しく暖かいミニコンサートに、日頃は介護に忙しいとまり木の会の皆さんから「久しぶりに歌った～」「やっぱり歌はいいよね～」「たのしかった～」との声があがっていました。



Q. ボランティアのきっかけは？

A. 地域福祉部会などで顔をあわせていたメンバーが自然に集って、区長や老人クラブを引き込み今のメンバーになりました。ミニデイの他にも日頃から地域の高齢者に関わっています。

Q. 気をつけていることは？

A. 昼食を手作りしているので衛生面には特に気をつけています。今日はお正月らしく、ぜんざいを作ったら、とても喜ばれました。持ち寄る気持ちもボランティアのひとつですから、野菜など家にある物は持ち寄っています。

Q. 課題はありますか？

A. 会員さんからの「楽しい」の声が進みです。普段は顔を合わすことも少ないが、ここに来ると話がはずみます。メンバーが普段からなんでも本音で言い合える中で、こんなつながりは他にないと思います。若い世代はまだ仕事をしている人が多いけど、私達がしていることを見ている人があればつながっていくかな、と思っています。

取材当日も本音トークの連続で笑い声の絶えない今ミニデイのボランティアさんたちでした。美味しいぜんざいといきなり饅頭、ごちそうさまでした！

取材日：平成22年1月18日(月)



Q. ひまわりの会ボランティアさんの特色を教えてください。

A. 料理自慢で～す！（即答）美味しいお料理を食べてもらうのが一番の楽しみです。

野菜も畑から持ち寄ってすべて手作り！業者のお弁当も試したけどやっぱり手作りが良いとの声で手作りにもどしました。

Q. 献立はどのようにして決めるのですか？

A. お互いに「うちに〇〇があるけん持ってこよう」

「じゃあ〇〇をつくろうか」という「あうんの呼吸」というかテレパシーで決めていきます（！）

外の椿の花が見事なので椿に見立てた「おはぎ」をデザートにしました。今日は節分だから名付けて「おたふくご膳」というところかな。

Q. ところでご苦労されていることはありませんか？

A. 料理の味が「あまかやか～？からかやか～？と気になるくらいで和気あいあいと楽しいので苦労はありません。「おいしかった～」の一言がうれしいです。

取材日：平成22年2月3日(水)



ふくおか“きずな”フェスタに参加して



2月28日（日）、春日市クローバープラザで、ふくおか“きずな”フェスティバルが開催されボランティアに携わる多くの方々が参加しました。今年は“きずな”に対する認識をより深めた大会だったと思います。まず麻生知事からは、多くの制度の中でそれを上手く活用する為にもボランティアが必要不可欠、そして色んな分野の地味な実践こそが県を支え、住みやすく共に支えあう社会作りになる、それは“きずな”と同じこと！というお話をいただき、続く富安兆

子さんの講演では、希望や信念は周囲に伝わり、伝える人が多ければ世の中は変わる、またボランティアの意義は強調してもし過ぎる事はない等、元気の出るお話をたくさんいただきました。午後からは、7つのテーマ別に各会場で分科会が行われ、大刀洗から車椅子レクダンスボランティア“矢車草”が指導者として参加、その他の分科会でも各地域から問題提起者の発表があり、熱心な話し合いが繰り広げられました。最後まで中身のこい大会でした。

朗読研修会が 開催されました



2月27日（土）、NHKのチーフアナウンサー原田徹さんを講師に迎え朗読研修会が開催されました。研修に先立ち、今年活動15周年を迎えるナレーションサークル風の朗読会も行われ、原田アナは、その感想を交えながら朗読の奥の深さや聴く人のことを考えながら読むことの大切さ、伝える事が出来た時の感動などを、実体験を交え楽しく話されました。後半は、NHKアナウンサーも使うというテキストを、大刀洗中学校の放送委員の生徒7名を含む51名の参加者全員で音読、日常的に「しゃべる」と「朗読する」ことの違いを実感しました。最後に原田アナは「15年間朗読活動を続けてきたナレーションサークル風で、是非一緒にボランティア活動に参加して下さい」と締めくくられました。

ちょっとずつのボランティア “ちょぼら”のススメ

- 「料理が得意」
- 「子どもと遊ぶのが好き」
- 「ウォーキングついでに
子どもを見守ろう」
- 「私にできるボランティアは
ないかな…」



好きなこと・得意なこと・昔よくやっていたことなど、誰かのためにちょっと役立ててみませんか？

「必要とされる喜び」や「仲間」、そしてたくさんの「出会い」があなたを待っています。

ボランティアセンターではあなたのボランティア登録をお待ちしています。

ボランティア活動に関する情報、ご意見、ご感想、お問い合わせは、

「大刀洗町ボランティアセンター」まで
TEL:0942-77-4877 FAX:0942-77-4877

スマイル 代表 戸塚幹栄
福村宮生
福村地代充
川端好江



編集スタッフ